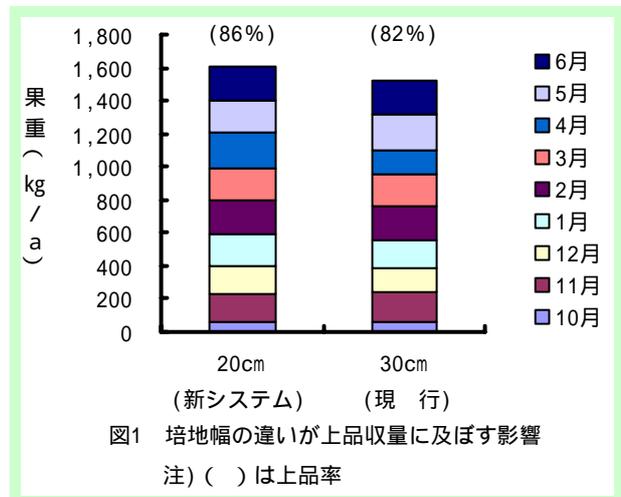


新しい高知方式ロックウールシステムにおける 促成ナスの生育・収量



培地コストの低減を目的に、改善された新しい高知方式ロックウールシステムを用い、水分調整用および栽培用ロックウールを慣行の培地幅 30cm から 20cm に狭くした場合の促成ナスの収量、品質に及ぼす影響について検討しました。

品種は「竜馬」(実生)を用い、7.5 cm 角のロックウールキューブで育苗して 2002 年 9 月 18 日に定植(栽植本数

111 本/a)し、翌年の 6 月末日まで主枝 3 本仕立て 1 芽摘心で栽培しました。

その結果、培地幅を慣行の 30cm から 20cm に狭めても生育に差は見られず、また、上品収量および上品率もほぼ同等でした(図 1)。このことから、培地幅を 20cm 程度まで狭くすることは可能と考えられました。

(施設野菜科 武井 久 088-863-4918)

高知県農業技術センターニュース 第 36 号
平成 16 年 7 月 1 日

編集発行 高知県農業技術センター
所長 吾妻 浅男

農業技術センター
〒783-0023 高知県南国市廿枝 1100
TEL(088)863-4912
FAX(088)863-4913

果樹試験場
〒780-8064 高知市朝倉丁 268
TEL(088)844-1120
FAX(088)840-3816

農業技術センター山間試験部
〒789-0315 長岡郡大豊町中村大王 3523-7
TEL(0887)72-0058
FAX(0887)72-1544

茶業試験場
〒781-1801 高岡郡仁淀村森 2792
TEL(0889)32-1024
FAX(0889)32-1152